

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、はるとは学校のかえり道で、こうさてんに立っている警察官を見ました。

赤と青のぼうしをかぶり、手を上げて、車や人をあんぜんにうごかしています。

はるとは、「まちの人をまもっているんだな」と思い、しばらく立ちどまって見ていました。

警察官のだいじなしごとの一つは、こうつうのあんぜんをまもることです。

こどもやおとしよりがわたるときに、車がとまるように合図をしたり、あぶないばしよをたしかめたりします。

また、じこがおきたときには、すぐにかけてついで、けがをした人をたすけるしごともします。

ほかにも、まちの中をまわって、こまっている人がいないかたしかめるしごとがあります。

道にまよった人にばしよを教えたり、なくしものをいっしょにさがしたりすることもあります。

警察官は、まちがあんしんしてすごせるように、毎日ほたらいているのです。

家にかえると、はるとは、「あぶないことがないように、たくさんの方ががんばっているんだな」と思いました。

そして、まちで見かける警察官に、「ありがとう」という気持ちがかびました。



- (1) はるとは、こうさてんで警察官のどんなようすを見ましたか。文の中からさがして書きましょう。

- (2) つぎの文のうち、文章の内容と合っているものを一つえらび番号を○でかこみましよう。

- (3) 本文の内容にそって①～③を並べ替えましよう。
- ① 警察官は、こうさてんに立つしごとだけをしています。
 - ② 警察官は、まちがあんしんしてすごせるように見守っている。
 - ③ 警察官は、夜はほたらきません。
 - ④ 警察官は、なくしものをさがしごとはしますが、道にまよった人にばしよを教えたりはしません。

- ① はるとが、こうさてんに立つ警察官を見らる。
- ② まちの中をまわり、こまっている人がいないかたしかめる。
- ③ じこがおきたときに、けがをした人をたすける。



1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、はるとは学校のかえり道で、こうさてんに立っている警察官を見ました。

赤と青のぼうしをかぶり、手を上げて、車や人をあんぜんにうごかしています。

はるとは、「まちの人をまもっているんだな」と思い、しばらく立ちどまって見ていました。

警察官のだいじなしごとの一つは、こうつうのあんぜんをまもることです。

こどもやおとしよりがわたるときに、車がとまるように合図をしたり、あぶないばしよをたしかめたりします。

また、じこがおきたときには、すぐにかけてついで、けがをした人をたすけるしごともします。

ほかにも、まちの中をまわって、こまっている人がいないかたしかめるしごとがあります。

道にまよった人にばしよを教えたり、なくしものをいっしょにさがしたりすることもあります。

警察官は、まちがあんしんしてすごせるように、毎日ほたらいているのです。

家にかえると、はるとは、「あぶないことがないように、たくさんの方ががんばっているんだな」と思いました。

そして、まちで見かける警察官に、「ありがとう」という気持ちがかびました。



- (1) はるとは、こうさてんで警察官のどんなようすを見ましたか。文の中からさがして書きましょう。

解答例) 赤と青のぼうしをかぶり、手を上げて、車や人をあんぜんにうごかしているようす。

- (2) つぎの文のうち、文章の内容と合っているものを一つえらび番号を○でかこみましょう。

- ① 警察官は、こうさてんに立つしごとだけをしています。
- ② 警察官は、まちがあんしんしてすごせるように見守っている。
- ③ 警察官は、夜はほたらきません。
- ④ 警察官は、なくしものをさがすしごとはしますが、道にまよった人にばしよを教えたりはしません。

- (3) 本文の内容にそって①〜③を並べ替えましょう。

- ① はるとが、こうさてんに立つ警察官を見る。
- ② まちの中をまわり、こまっている人がいないかたしかめる。
- ③ じこがおきたときに、けがをした人をたすける。

① ↓ ③ ↓ ②